

社会 1次 正答率・講評

問題		正答率 (%)		講評	
		受験者	合格者		
【1】	問1	(1)	65.5	78.8	各都道府県の「駅弁」を題材として、自然、産業、交通、文化など地理分野の内容を総合的に問う問題であった。基礎的な問題が多かったため、全体的に正答率は高かったと思う。 問8は、野菜の栽培方法を正確に理解できているかにあわせて、それぞれの地域の位置や特徴をおさえているかが問われる問題だった。地名が出たら、地図帳で確認する習慣を日頃から身につけておくことが重要である。 問10は、益子焼が栃木県の伝統的工芸品であることを理解したうえで、各選択肢が示す都道府県も理解する必要があった。正確な知識が問われる問題だったため正答率が下がった。 問12は、リード文に書かれたキーワードから、それぞれの駅弁がどの都道府県のものかを導く問題だった。 (あ)は「桃太郎伝説」や「倉敷」、「果樹栽培がさかん」から岡山県、 (い)は「水産資源が豊富」であることと、「根室本線」から北海道、 (う)は「日本海側の県」であることと、「越前」から福井県、 (え)は「明石大橋」から兵庫県、 (お)は「米の生産量が多い」ことと、「なまはげ」・「竿灯まつり」から秋田県、について説明した文章であることが分かれば解けた問題であった。
		(2)	64.3	68.8	
	問2	54.8	55		
	問3	70.8	75		
	問4	61.3	71.3		
	問5	88.7	91.3		
	問6	95.2	96.3		
	問7	92.9	96.3		
	問8	35.7	38.8		
	問9	42.9	48.8		
	問10	23.8	25		
	問11	58.3	65		
問12	51.2	57.5			
【2】	問1	(1)	94.6	96.3	「女性史」をテーマに、古代から近代までの範囲を出題した。基本的な問題が多く、全体的に正答率が高かった。 全体的に正答率が低かった問題として、問2の歴史的な出来事の順番に関する問題が挙げられる。重要語句などの事項は覚えているが、それらを歴史の流れで覚えていないことが考えられる。「これがかきかけでこうなった」というように、歴史的事項をストーリーのようにつなげて覚える方が、内容を深く学べ、何より歴史を楽しく感じられるだろう。 合格者正答率と受験者正答率の差が大きかったのは、問8だ。大正デモクラシーに関する知識を出題した。大正デモクラシー自体は皆知っているが、具体的な内容まで理解しているかどうかで差がついたと考えられる。上記についても、歴史をストーリーで覚えることが効果的である。「なぜ大正デモクラシーが起きたのか」、「結果としてどうなったのか」について考えれば、自然と細かい内容を知ることができる。
		(2)	85.1	88.8	
		(3)	96.4	98.8	
		(4)	89.3	92.5	
		(5)	83.3	92.5	
		(6)	89.9	97.5	
	問2	62.5	60		
	問3	74.4	82.5		
	問4	94.6	96.3		
問5	89.3	90			
問6	85.7	90			
問7	72.6	78.8			
問8	73.2	85			
【3】	問1		69	71.3	港湾に関する地理、歴史、公民分野の総合問題で、思考力、分析力、表現力を問う出題であった。分量的に多く、計算を要する問題もあったため、時間的に余裕がなかった受験生もいたと思う。 問1は、日米和親条約をヒントに解答を導くため正答率は高かったが、誤字が目立った。 問2、問5、問9は、図・表から読み取り、計算を要し時間を費やす問題であったため正答率の差異が大きかった。まず全体を捉えて傾向をおさえてから、一つひとつ読み解く力が必要である。日頃の学習で資料やグラフ等で気になった所をメモをするなどの習慣を身に付けていくことが大切である。 問3は思考力を問う出題であった。福岡市が古くからアジアとの交易の拠点として栄え、大都市として発展したということを理解していれば、説明できるため正答率は高かったのではないと思う。一方、問4に関しては問題文で求められている条件を満たしておらず、部分点となっている解答が多く見られた。2つの資料から読み取ると、大型の船は港に接岸できない、物資を運ぶ小舟が必要、と考えてもらいたかった問題である。 問6は日本が島国であるということ、問7は原油がコンテナでは輸送できない点を理解していれば容易であつと思う。また、問8に関しては、読解力を問う国語的な要素を含む出題であったが、時間的な余裕があれば解ける問題であった。 問10は、ウォーターフロント開発に限らず、開発をすることで自然界に与える影響は少なからずある、ということ認識してもらいたい。
	問2		46.4	51.3	
	問3	記述	64.3	69.2	
	問4	記述	10.4	12.5	
	問5		32.7	27.5	
	問6		79.2	85	
	問7		36.9	37.5	
	問8		20.2	23.8	
	問9		16.1	17.5	
	問10	記述	14.6	18.1	

社会 2次 正答率・講評

問題		正答率 (%)		講評	
		受験者	合格者		
【1】	問1	32.7	29.2	<p>「日本と関係の深い国と交流をしている都市」を題材として、地理分野の内容である、自然環境・産業・地図上での位置・交通・地形図の読図・貿易・時差の計算、などを総合的に出題した。</p> <p>問2や問4、問7は都市の位置などを確認する問題で、地理学習の基本である「出てきた場所を地図帳で確認しているかどうか」の目頃からの学習姿勢が問われる出題であった。また、問4については、県庁所在地の都市を解答すべき問題であったが、「博多市」や「北九州市」などの誤答が目立った。</p> <p>問5は、いずれの都市も第3次産業の割合が高いため、特に各都市で発達している第1次・第2次産業に注目して解答を導く問題であった。</p> <p>問11の名古屋港の選択は、輸出品目や金額から、中京工業地帯や自動車産業の盛んな豊田市を想起し、また、東京港の選択は、輸出品目や金額から、大阪市よりも人口が多く巨大な市場を抱えている首都を想起して、解答を導き出した。</p> <p>問12は、経度15度で1時間の時差、西経側に位置するロサンゼルスは日本の標準時よりも遅い時間帯に位置している、という知識をもとに落ち着いて計算してほしい。</p>	
	問2	61.8	67.8		
	問3	86.5	91.1		
	問4	28.9	33.7		
	問5	41.7	50		
	問6	47.4	52		
	問7	32.5	39.1		
	問8	61.8	64.4		
	問9	24.6	22.8		
	問10	49.8	65.3		
	問11	47.2	54		
	問12	32.2	46		
【2】	問1	32.7	35.6	<p>国立博物館をテーマに日本の芸術文化に関する出題である。</p> <p>合格者と全受験者の正答率で最も差異が大きかったのは、問5の江戸時代の官学に関する漢字指定の問題であった。江戸時代の統治法として、戦国時代とな異なり、武力よりも法や思想での統治を重視した点は、江戸時代を考える上でも重要であり、朱子学についてはその文言だけでなく、その内容についても学習をして欲しい。次に差異が見られたのは、問3の幕末から明治時代にかけてのできごとを、起こった順番で理解しているかを問う出題である。個々のできごとについての理解はもちろんであるが、歴史を学ぶに際して、その経緯から出来事の因果関係を捉えていくことが重要である。</p> <p>正答率が最も低かったのは、問1である。旧幕府軍と新政府軍は、徳川慶喜が謹慎していた寛永寺のある上野でも激しく戦った。国立博物館のある上野は、今では芸術文化の中心地の一つともいえる場所であるが、かつては戦場となった場所である。歴史を学ぶことによって、今のその土地の様子についての理解や考えを一層深めることができる。</p> <p>文化芸術史を学ぶにあたって、図版の資料を参照するのはもちろん、できれば実際に博物館や美術館に足を運んで、実物に接して欲しい。歴史の理解をより深めるためにも有効であると考え。</p>	
	問2	82	87.6		
	問3	70.4	80.2		
	問4	57.1	64.9		
	問5	73.5	84.7		
	問6	87.2	91.6		
	問7	96.7	98		
	問8	87.7	91.6		
	問9	85.8	89.6		
	問10	54	56.9		
	問11	82.9	88.1		
	問12	80.1	84.2		
【3】	問1	(1)	87	89.1	<p>世界各国の神話をテーマに出題した。</p> <p>きわめて正答率の低かった問3だが、アラスカの雨温図に気を取られたのか、イヌイットの事情についてしか考慮してない解答が目立った。イヌイットとアイヌの神話で太陽神が重視されない理由を問うている以上、当然、イヌイットとアイヌに共通する特徴が答えとなる。「寒くて降水量が少ないから」という解答が非常に多かったが、北海道の降水量は全く少なくないし、世界的にみれば寒くもない。アラスカの雨温図を見たとき、北海道と同じ気候条件にあるとは到底言えないことに気づいて良いはずだ。アイヌとイヌイットに共通するのは、農業ではなく狩猟や漁業を主要産業にしていたことだ。アイヌが狩猟民族であることは歴史の知識として知っているべきだし、イヌイットが農業をできない環境にあることは雨温図をみれば分かる。そこに気づけば、他の地域で太陽神が信仰されているのは、農業において太陽が重要な役割を持っているためであることに思い至ることができるだろう。</p> <p>問5(2)は、ヘビの曲がりくねった形が川を模していること、ヤマタノオロチの神話において、この怪物が川に住んでいるとされていることから、川に関する災害であると予想を立てることができる。</p> <p>問6については、そもそも古代において石油がエネルギー資源として使われているはずがないことを考えれば、すぐに(イ)の内容が誤りだと判断できるだろう。</p> <p>問7については、『イリアス』が作られた年代について間違ってしまった受験生が多かった。年表を見れば分かるように、『イリアス』はミケーネ文明の時代に起こった出来事について書かれた作品であるが、その時代のことを書いているからといって、その時代に書かれたとは限らない。『イリアス』の作中には鉄が登場するが、鉄器の使用が始まったのはミケーネ文明の後に訪れた暗黒時代なので、『イリアス』がミケーネ文明の時代に作られたとは考えられない。ホメロスが、自分が生きた時代の感覚で、ミケーネ文明の時代のことを描写してしまったのだ。</p> <p>問8について、神話がつくられた目的は様々な考えられるが、問いの指示にもあるように、あくまでこの問題で紹介した神話や、問題から読み取ることができるものだけを正解とした。問1(1)や問7からは、実際の歴史上の出来事を物語化することで神話を作られることがあることが分かるし、問4からは、神話が支配者の正当性を示すために利用されることがわかる。また、問2や問5からは、神話が、科学の発達していない時代において、不可思議な自然現象に納得のいくような説明をつけるために作られることがあったのが分かるだろう。</p> <p>神話は、様々な漫画やアニメ、ゲームの題材になっている。その一方で、今回の問題で示したように、そこから様々なことを学びとることもできるので、是非関心をもって色々と調べてみてほしい。</p>
		(2)	83.2	88.6	
		(3)	68.7	73.8	
	問2		50.2	58.4	
	問3	記述	2.5	3	
	問4		76.3	83.2	
	問5	(1)	31.8	40.6	
		(2)	17.1	23.3	
	問6		22	21.3	
	問7 記述	記号	24.9	28.7	
		理由①	10.8	13.4	
	理由②				
問8 記述	目的①	15	20		
	目的②				

社会 3次 正答率・講評

問題	正答率 (%)		講評	
	受験者	合格者		
【1】	問1 (1)・(2) 完答	76.8	87.2	SDGsについて、世界各国の取り組みと地理的な内容を関連させた、基礎的な知識を問う出題であった。受験生が日頃からSDGsに関心をもち、地理の基礎的な知識があれば解答できる出題が多かった。その中で正答率が低かったのは、問3のSDGsの達成目標に関連する施設についての地図記号の問題であった。単にその地図記号を覚えているだけでなく、なぜそのような記号になったのかという知識が必要であった。受験生は一步深く学習していればしっかり解答できたと思う。更に正答率が意外に低かったのは、問7のエネスコの本部を解答する出題であった。国連の専門機関についての出題で、公民的な知識の要素も含まれていた。受験生の多くは国連の本部がニューヨークに置かれていることから、誤答の(A)を選択する解答が目立った。その他、正答率が低かったのは、問11のSDGsの達成目標についてその内容を問う出題であった。この問題も問3と同様に、単にSDGsの達成目標を覚えるだけでなく、何故そのような目標が立てられたのかということまで、一步深く学習していれば比較的容易に解答できたと思われる。総合的に合格者は、上記の部分を除き、その他の出題に関して、確実に得点しやすい基礎的な知識問題をミスなくしっかりと正解することができていた。
	問2	82.1	95.7	
	問3	32.4	31.9	
	問4	32.9	51.1	
	問5	54.6	61.7	
	問6	63.8	72.3	
	問7	26.6	38.3	
	問8	[X] 76.8 [Y] 90.3	89.4 100	
	問9	84.5	91.5	
	問10	48.8	61.7	
	問11	36.7	31.9	
【2】	問1	64.3	78.7	2021年に予定されていたが、コロナの影響で2022年に変更になった「御開帳」が行われた善光寺の歴史を題材として出題した。漢字指定の語句問題の正答率が低くなっていた。人物、地名、語句はしっかりと漢字で覚えてほしい。特に多かったミスとして問2(4) + 「辺」舎一九、問7日本書「記」があげられる。さらに歴史上で出てくる地名も、単純に語句として覚えるのではなく、地図帳などできちんと場所も確認してほしい。問11は百済の場所を④としている誤答が目立った。④は新羅であり、百済と新羅の場所を把握していないと白村江の戦いが起きた場所もわかっていないことになる。問2(5)上越新幹線の誤答が多かった。上「越」はどこを指しているかを考えてほしい。時代に関する正誤問題も正答率が低く、出来事などはきちんと覚えているが、その出来事がいつ起きているかが曖昧であるように感じた。問5 [X] 大宝律令が制定されたのは701年であり、8世紀の出来事である。問10はやや難しかったが、(ア)の風神雷神図屏風が描かれたのは江戸初期、(エ)の寛永通宝は寛永の年号が使用されていることから武家語法度寛永令が出された3代将軍徳川家光期であることを推測してほしい。(ウ)の国学の大成は18世紀後半であり、吉宗の享保の改革時ではない。問11は明治時代の文化として誤っているものであるが、杉田玄白は江戸時代で蘭学の発展に貢献した人物であることが理解できていれば解けた問題ではある。文化はその時代を写す鏡でもあるので、その時代の政治的な特徴とその時代の文化の作風をセットで理解してほしい。
	問2	(2) 91.3 (3) 89.4 (4) 29.5 (5) 74.4	97.9 97.9 48.9 87.2	
	問3	86	93.6	
	問4	80.7	93.6	
	問5	27.5	46.8	
	問6	76.8	87.2	
	問7	41.5	59.6	
	問8	69.6	87.2	
	問9	72.5	80.9	
	問10	28	38.3	
	問11	50.7	59.6	
【3】	問1	24.6	34	今回の総合問題は、学園の公式マスコットから関連した「ゆるキャラ」と地域復興をテーマとした。時間配分を誤ったためか、最後まで解答できていない答案用紙が多かったことから、各問の難易度を見極める必要があると思われる。以下に正答率が想定以上に低かった問の講評を記すことにする。問1は3都市の昼夜間人口比率を、与えられた資料を基に検討する問題であったが、彦根市と船橋市の判別に苦戦していた。近隣に大都市がある場合は、比率の数値が下がることを抑えておこう。昼夜間人口比率が何の指標であるか分からなかったとしても、注に記された計算式から推測しよう。問5の記述問題は出題の趣旨を読み取れていない答案が目立っていた。統計の数値の変化を「東北地方太平洋沖地震」や「新型コロナウイルス」など社会的混乱ばかりに注目しすぎないようにしよう。需要と供給のバランスに関する説明が出来ることが望まれる。問7は単純に統計資料の数値を読みとるだけの問題である。時間をかけて落ち着いて分析すれば、難しい問題ではないのだが、残念な結果となってしまった。問8の「チバニアン」の問いであるが、話題としては少し前の時事問題となっている。直近のニュースを追いかけることも大事であるが、一般教養として知っていて欲しい内容であった。問9は各商店の立地を検討するものであるが、普段から身の周りの物事について考えるようにしていれば、特に苦戦する問ではないはずである。大規模な駅前の一等地には「百貨店」が、オフィス街や住宅街の中にもみられる、利便性の良さを重視したのが「コンビニ」、大きな幹線道路沿いに連なっており、車での買い物を想定した広い店舗面積を有しているのが「大型スーパー」である。問10の記述問題では、問われていることに全く答えていない解答が数多く見られた。「定住者」を増やすための施策を答えるのであって、決して「観光客」を増やす施策ではない。一時的な人口増加では町おこしにはつながらないのである。問題文を丁寧に読むことを心掛けよう。
	問2	40.6	44.7	
	問3	55.1	61.7	
	問4	58	66	
	問5	記述	3.7 7.1	
	問6	良い点	84.8 90.4	
	問6	問題点	71.5 73.4	
	問7	48.3	59.6	
	問8	28.5	38.3	
	問9	10.6	17	
問10	記述	方法① 7.5 方法② 14		